

教科	国語	科目	現代の国語
履修条件 対象生徒	必履修 デザイン科 1学年		
学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		
学習方法	<p>[授業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の随筆、評論文などについて読解や話し合いを通じて内容の構成、論理の展開を的確に把握する。 ・情報を相互に関連付けながら、内容を解釈し、自分の考えを深める。 ・目的や場に応じた話題を設定し、情報が的確に相手に伝わるように表現する。 <p>[家庭学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを手がかりに事前に学習内容に触れたり学んだことについて確認したりする。 <p>[補習・その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補習では、検定勉強の補助や基礎的・基本的事項の確認を行う。 ・漢字テストと関連付けた語彙習得学習を通じて、基礎的な漢字力を身に付ける。 		
学習計画 と ねらい	<p><1学期末考査まで></p> <p>明日を開く 白紙 要点をつかむ 水の東西 的確に伝える 伝わるように話す 意見を示す 発想を広げる 意見を書く</p> <p><2学期末考査まで></p> <p>論理を捉える 動的平衡としての生物多様性 魅力的に伝える 工夫して話す 資料を駆使する 「安くておいしい国」の限界 他者と交流する 目的に合った質問をする</p> <p><学年末考査まで></p> <p>情報を比較する 空気を読む 個人から分人へ 他者を動かす 説得力のある資料を作る 主張を吟味する 贅沢を取り戻す 考えを発信する 問いを立てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢を作る。 ・相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身につける。 ・叙述を的確にとらえる。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 ・主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 ・演繹、帰納に着目して文章の論理をとらえる。 ・相手の興味を引くように、構成や展開を工夫して話す。 ・声の強弱や話す速度、間の取り方などを意識して話したり聞いたりする。 ・質問の目的を明確にする。 ・目的に沿った質問をして知りたかったことへの理解を深める。 ・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 ・文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。 ・異なる意見を持つ人同士が結論を出すための話し合いの工夫について理解を深める。 ・結論の出し方を工夫して話し合う。 ・適切な情報を集め、問いを立てる。 ・調べたことを根拠として、問いを解決するレポートを書く。 	
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。	内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。	問いに向かう姿勢を振り返り自力で考えることを大切にしようとしている。
評価方法	<p>○評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」から総合的な評価を行う。</p> <p>○定期考査は、知識・理解を偏重することなく、3つの観点で評価できるよう作問を工夫する。</p> <p>○定期考査だけでなく、年間を通じて発表、作文、課題など、生徒の主体的な活動も重視する。またそれらの表現領域においては、テーマの設定から発表にいたる学習過程の全体を評価の対象とする。</p> <p>以上を総合的に判断して評価する。</p>		
その他			